

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-298676

(43)Date of publication of 24.10.2000

application :

---

(51)Int.Cl. : G06F 17/30  
G06F 13/00

---

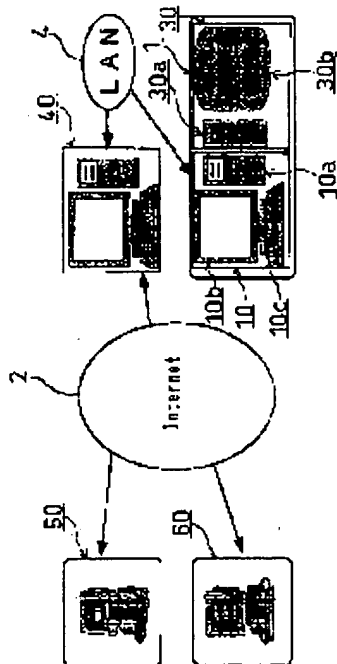
(21)Application 11-107221 (71)Applicant BANDAI CO LTD

number : :

(22)Date of filing : 14.04.1999 (72)Inventor : TAKAHASHI TOYOSHI

---

## (54) INFORMATION SUPPLY DEVICE



(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a device which can supply a subject related to the content of a character conversation and can activate the character conversation by retrieving various pieces of information corresponding to a keyword extracted from the conversation sentence, reading

retrieved information from a storage means and transmitting it to a conversation

controller.

SOLUTION: Terminal equipment 50 and 60 are connected to internet 2 being a communication network. A chat server 40 being a conversation controller is connected to internet 2. In such information supply device, a conversation sentence on a character conversation is received from the chat server 40 controlling the character conversation between terminal equipment 50 and 60 connected through internet 2. A keyword is extracted from the conversation sentence on the character conversation received from the chat server 40. Various pieces of information corresponding to the extracted keyword are retrieved. Retrieved information is read from a storage means and it is transmitted to the chat server 40.

**\* NOTICES \***

JPO and INPIT are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1.This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.

2.In the drawings, any words are not translated.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-298676

(P2000-298676A)

(43) 公開日 平成12年10月24日 (2000. 10. 24)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

識別記号

F I

テーマコード\* (参考)

G 0 6 F 17/30  
13/00

3 5 5

G 0 6 F 15/403  
13/00  
15/40  
15/403

3 3 0 C 5 B 0 7 5  
3 5 5 5 B 0 8 9  
3 1 0 F  
3 8 0 D

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号

特願平11-107221

(22) 出願日

平成11年4月14日 (1999. 4. 14)

(71) 出願人 000135748

株式会社バンダイ

東京都台東区駒形2丁目5番4号

(72) 発明者 高橋 豊志

東京都台東区駒形2丁目5番4号 株式会  
社バンダイ内

(74) 代理人 100081363

弁理士 高田 修治

Fターム(参考) 5B075 KK07 ND03 PP25 PQ05

5B089 GA11 GA21 HA10 JA40 JB01

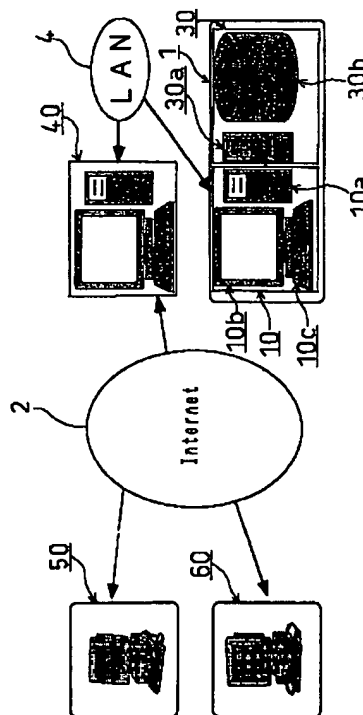
KA18 KC53 LB04 LB14

(54) 【発明の名称】 情報提供装置

(57) 【要約】

【課題】 情報通信網を介して接続された端末装置同士の文字対話の内容に関する話題を提供し、文字対話を活性化させる情報提供装置を提供することを目的とする。

【解決手段】 文字対話に係る対話文を受信して、キーワードを抽出するデータサーバ10と、抽出したキーワードに基いて対応する情報をデータベース30bから検索するデータベース装置30と、この検索した情報をチャットサーバ40に送信する送信手段とを有して構成される。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 情報通信網を介して接続される複数の端末装置同士の文字対話を制御する対話制御装置に接続され、この対話制御装置に各種情報を提供する情報提供装置において、下記の要件を備えてなることを特徴とする情報提供装置。

(イ) 前記対話制御装置から文字対話に係る文字を受信する受信手段を有すること。

(ロ) 前記対話制御装置から受信した文字対話に係る文字の中から特定のキーワードを抽出する抽出手段を有すること。

(ハ) 前記特定のキーワードのそれぞれについて、関連する情報を記憶している記憶手段を有すること。

(ニ) 前記抽出手段によって抽出されたキーワードに関連する情報を前記記憶手段から読み出す読出手段を有すること。

(ホ) 前記読出手段によって読み出された情報を前記対話制御装置に送信する送信手段を有すること。

【請求項2】 下記の要件を備えてなることを特徴とする請求項1に記載の情報提供装置。

(イ) 前記読出手段によって読み出された情報と同一内容の情報が送信済みであるか否かを判定する判定手段を有すること。

(ロ) 前記判定手段によって同一内容の情報が送信済みであると判定された場合は、その情報の送信を禁止する送信禁止手段を有すること。

【請求項3】 下記の要件を備えてなることを特徴とする請求項1または請求項2のいずれかに記載の情報提供装置。

(イ) 前記記憶手段は、それぞれのキーワードに関連する情報を記載したホームページに関するアドレス情報と、それぞれのホームページとリンクさせるためのリンク情報を記憶していること。

(ロ) 前記送信手段は、前記キーワードに関連する情報と共に、その情報を記載したホームページに関するアドレス情報と、当該ホームページとリンクさせるためのリンク情報を送信すること。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本願発明は、情報通信網を介して接続された複数の端末装置同士の文字対話の内容に関連する情報を提供する情報提供装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 近年、インターネットを利用して文字対話を行うことのできる、いわゆるチャットが利用されている。すなわち、インターネットに接続された複数の端末装置同士がキーボードから文字を入力して送信することにより、リアルタイムで文字対話を行うことができる。

【0003】 図7に示すように、インターネット130には、対話制御装置100が接続されると共に、複数の通信端末装置110、120が接続されている。通信端末装置110の使用者Xは、キーボードから文字による対話文を入力して対話制御装置100に送信する。すると、対話制御装置100は、通信端末装置110から受信した対話文を通信端末装置120に送信する。通信端末装置120の使用者Yは、受信した対話文に対する応答文をキーボードから入力し、対話制御装置100へ送信する。対話制御装置100は通信端末装置120からの応答文を受信すると、受信した応答文を通信端末装置110へ送信する。上記の動作を繰り返すことで、図8に示すような文字による対話文が通信端末装置110及び通信端末装置120のそれぞれのチャット画面に表示される。これにより、インターネットを介して接続された通信端末装置110と、通信端末装置120とのあいだで、文字による対話を行うことができる。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記のような従来の文字対話方式では、複数の通信端末装置のあいだで単に文字対話を行うのみであり、話題が不足する場合は会話の発展性に欠けるという問題点を有していた。

【0005】 本願発明は、上記に鑑みて案出されたもので、文字対話の内容に関連する情報を文字対話の中で提供することにより、通信端末同士の文字対話を活発化させることのできる情報提供装置を提供することを目的とする。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明が提供する請求項1に係る発明は、上記目的を達成するために、情報通信網を介して接続される複数の端末装置同士の文字対話を制御する対話制御装置に接続され、この対話制御装置に各種情報を提供する情報提供装置において、下記の要件を備えてなることを特徴とする。すなわち、

(イ) 前記対話制御装置から文字対話に係る文字を受信する受信手段を有すること。

(ロ) 前記対話制御装置から受信した文字対話に係る文字の中から特定のキーワードを抽出する抽出手段を有すること。

(ハ) 前記特定のキーワードのそれぞれについて、関連する情報を記憶している記憶手段を有すること。

(ニ) 前記抽出手段によって抽出されたキーワードに関連する情報を前記記憶手段から読み出す読出手段を有すること。

(ホ) 前記読出手段によって読み出された情報を前記対話制御装置に送信する送信手段を有すること。

【0007】 また、本発明が提供する請求項2に係る情報提供装置は、請求項1に下記の要件を附加したことを特徴とする。すなわち、

(イ) 前記読出手段によって読み出された情報と同一内容の情報が送信済みであるか否かを判定する判定手段を有すること。

(ロ) 前記判定手段によって同一内容の情報が送信済みであると判定された場合は、その情報の送信を禁止する送信禁止手段を有すること。

【0008】また、本発明が提供する請求項3に係る情報提供装置は、請求項1または請求項2のいずれかに下記の要件を附加したことを特徴とする。すなわち、

(イ) 前記記憶手段は、それぞれのキーワードに関連する情報を記載したホームページに関するアドレス情報と、それぞれのホームページとリンクさせるためのリンク情報を記憶していること。

(ロ) 前記送信手段は、前記キーワードに関連する情報と共に、その情報を記載したホームページに関するアドレス情報と、当該ホームページとリンクさせるためのリンク情報を送信すること。

【0009】

【発明の実施の形態】本願発明に係る情報提供装置の実施の形態を図面に基づいて説明する。図1は本願発明に係る情報提供装置のブロック図、図2は本願発明に係る情報提供装置が用いられる通信形態の全体構成図、図3は情報通信網を介して接続された端末装置同士で文字対話を行う場合を示した説明図、図4及び図5は対話文を分解してキーワードを検索する場合の手順を示した説明図、図6は本願発明に係る情報提供装置の作用を示したフローチャートである。

【0010】情報通信網であるインターネット2には、適宜のパーソナルコンピュータ等からなる端末装置50及び端末装置60が接続されている。また、インターネット2には、ワークステーションなどから構成されるチャットサーバ40が接続されている。チャットサーバ40は、特定の会員又は不特定多数の人にチャット、すなわち文字対話を提供するための対話制御装置である。端末装置50及び端末装置60は、インターネット2を介してチャットサーバ40にアクセスすることにより、文字対話を楽しむことができる。チャットサーバ40には、LAN4を介して本願発明に係る情報提供装置1が接続されている。もちろん、LAN4を介することなく、チャットサーバ40と情報提供装置1とをケーブルなどで直接的に接続して構成してもよい。また、上記情報通信網は、複数のネットワークがクモの巣状又は連鎖状に張り巡らされた水平分散型のネットワーク、いわゆるインターネットのみには限定されず、スーパーハイウェイ等の大規模ネットワークや、光ケーブル等を用いた小規模ネットワーク等にも適用される。

【0011】情報提供装置1は、適宜のワークステーションなどから構成されるデータサーバ10と、データベース装置30とから構成されている。データサーバ10は、LAN4を介してチャットサーバ40と接続されて

いる。データサーバ10は、制御装置10aと、表示装置10bと、入力装置10cとで構成されている。このデータサーバ10は、文字対話に係る対話文に含まれる特定のキーワードを抽出すると共に、抽出されたキーワードに関連する情報をデータベース装置30から読み出してチャットサーバ40へ提供するものである。

【0012】制御装置10aは、接続線19を介してデータベース装置30と接続されている。また、制御装置10aは接続線21を有するLAN4を介してチャットサーバ40と接続されている。制御装置10aは、CPU13、ハードディスク15、メインメモリ17及びインターフェース回路等の周辺回路部から構成される。CPU13と、ハードディスク15と、メインメモリ17はそれぞれ内部バスで相互に接続されている。

【0013】ハードディスク15には、チャットサーバ40から受信したチャットメッセージを複数の単語に分解するプログラム、分解された単語の中からキーワードになる単語を抽出するプログラム、抽出されたキーワードに関連する情報をデータベース装置30から読み出すためのプログラム、チャットの状況を監視するプログラム、チャットの状況に基いて情報を送信するためのタイミングを決定するプログラムなど種々のプログラムが記憶されている。

【0014】メインメモリ17は、チャットサーバ40から受信したチャットメッセージ、及びデータベース装置30から読み出したキーワードに関連する情報を一時的に記憶しておくものである。また、メインメモリ17には既に送信された送信済の情報の履歴が記憶される。またメインメモリ17は、CPU13が各種処理を行う際のワークエリアとして使用される。

【0015】CPU13は、ハードディスク15内に記憶されている種々のプログラムに従い、各種制御処理を実行するものである。CPU13は、チャットサーバ40から受信したチャットメッセージをメインメモリ17に記憶させ、ハードディスク15に記憶されているプログラムに基いてチャットメッセージを単語に分解する。また、CPU13は、前記分解された複数の単語の中から、情報を検索する際の特定のキーワードを抽出する抽出手段である。この抽出されたキーワードに関連する情報がデータベース装置30から読み出される。

【0016】またCPU13は、チャットの状況を監視する監視手段である。ここでいうチャットの状況とは、端末装置同士の文字対話の間隔、端末装置からのメッセージの受信、及び他の端末装置の参加や中断などの状況のことである。CPU13は、前記チャットの間隔を判断することにより、データベース装置30から読み出した情報を送信するためのタイミングを決定するものである。また、CPU13は、読み出した情報をチャットサーバ40へ送信する送信手段である。このとき、CPU13は、データベース装置30から読み出された情報が

複数種類ある場合は、その中から最適な情報を選択して送信する。

【0017】またCPU13は、前記端末装置の参加又は中断等の状況に基き、現在チャットに参加している端末装置を把握する。CPU13は、メインメモリ17に記憶されている送信済の情報の履歴を読み出し、前記データベース装置30から読み出した情報と同一内容の情報を過去に送信したことがあるか否かの判定を行う判定手段である。

【0018】CPU13は、前記判定手段によって既に同一内容の情報を一定時間以内に送信したと判定したときは、この同一内容の情報の送信を禁止する送信禁止手段である。このとき、CPU13は、チャットに参加しているメンバーが同一である場合に限り、既に送信済みの情報と同一内容の情報の送信を禁止するものである。この送信禁止手段により、同一内容の情報がチャット画面に再度表示されるのを防止することができる。

【0019】CPU13は、キーワードに関連する情報と共に、その情報を記載したホームページに関するアドレス情報と、当該ホームページにリンクさせるためのリンク情報、例えばリンクボックス等の情報をチャットサーバ40に送信するものである。このリンクボックスが端末装置によってクリックされたときには、その端末装置は該当するホームページに接続されるようになっている。

【0020】データベース装置30は、情報制御装置30aとデータベース30bで構成されている。情報制御装置30aは、データベース30bからの情報の入出力に係る処理を行なうものである。データベース30bは、各種情報を特定のキーワード毎に対応付けて記憶している記憶手段である。データベース30bに記憶している各種情報には固有の識別情報が付せられている。また、データベース30bは、それぞれのキーワードに関連する情報を記載したホームページに関するアドレス情報と、それぞれのホームページとリンクさせるためのリンク情報を記憶している。

【0021】情報制御装置30aは、CPU33、ハードディスク35、メインメモリ37及びインターフェース回路等の周辺回路部から構成される。ハードディスク35には、キーワードに対応する情報をデータベース30bから検索するプログラム、キーワードに対応する情報の数をカウントするプログラム、時間経過によりデータベース30b内の情報を更新するプログラムなど種々のプログラムが記憶されている。

【0022】メインメモリ37には、データサーバ10から受信したキーワード、データベース30bから読み出した情報を一時的に記憶する。また、メインメモリ37は、CPU33が各種処理を行う際のワークエリアとして使用される。CPU33は、CPU13からの制御指令に基づいて、ハードディスク35内に記憶されてい

る種々のプログラムに従い、各種制御処理を行なうものである。

【0023】CPU33は、情報を検索するためのキーワードをデータサーバ10から受信し、受信したキーワードに関連する情報を検索する。また、CPU33は、検索されたキーワードに対応する情報をデータベース30bから読み出す読出手段である。またCPU33は、データベース30bから読み出した情報を接続線19を介してデータサーバ10へ送信する。またCPU33は、データベース30b内の情報を管理し、所定の期間毎にデータベース30b内の情報を更新する。

【0024】次に、図3乃至図6を参照して作用を説明する。図3は情報通信網を介して接続された端末装置同士で文字対話を行う場合を示した説明図である。まず、端末装置50のユーザXが「昨日、俺〇〇〇〇のコンサートに行ってきたよ。」というメッセージをキーボードから入力すると、このメッセージはインターネット2を介してチャットサーバ40へ送信される。チャットサーバ40は、端末装置50からのメッセージを情報提供装置1へ送信すると共に、インターネット2を介して端末装置60へ送信する。これにより、端末装置60のチャット画面には、端末装置50からのメッセージが表示される。

【0025】情報提供装置1では、ステップS1において、端末装置50からのメッセージを受信すると、この受信したメッセージ「昨日、俺〇〇〇〇のコンサートに行ってきたよ。」をメインメモリ17に記憶する。

【0026】次にステップS1からステップS2へ進み、受信した端末装置50からのメッセージを図4に示すように単語毎に分解する。次にステップS2からステップS3へ進み、分解された単語の中に固有名詞が含まれているか否かを判断する。固有名詞の有無を判断するのは、文字対話の内容を正確に把握し、内容に適した情報を迅速に提供するため、キーワードとして固有名詞を抽出する必要があるからである。前記分解された単語の中には「〇〇〇〇」という固有名詞が含まれているため、ステップS3からステップS4へ進む。

【0027】ステップS4では、分解した単語の中から情報を検索する際のキーワードとなる単語を抽出する。このようにして抽出されたキーワード「〇〇〇〇」はデータサーバ10からデータベース装置30へ送信され、情報制御装置30aのメインメモリ37に記憶される。

【0028】次にステップS4からステップS5へ進み、CPU13はキーワード「〇〇〇〇」と関連する情報の検索を指令する。これにより、検索手段であるCPU33は、キーワード「〇〇〇〇」と関連する情報をデータベース30bから検索する。この検索の結果読み出される情報は、図4の枠内に示すように、キーワードと関連するメッセージデータ、キーワードと関連する詳細情報が記載されているホームページのアドレス情報、当

10

20

30

40

50

該ホームページとリンクさせるためのリンク情報及びこれら情報の識別情報等である。

【0029】検索が終了するとステップS5からステップS6へ進む。CPU33は、キーワードに対応するメッセージデータ、キーワードに関連する詳細情報が記載されているホームページのアドレス情報及びリンク情報、対応する識別情報等をデータベース30bから読み出し、メインメモリ37に記憶する。また、CPU33は、キーワードに関連するメッセージデータ、キーワードに関連する詳細情報が記載されているホームページのアドレス情報及びリンク情報、該当する識別情報を制御装置10aへ送信する。制御装置10aは受信した前記メッセージデータ、詳細情報が記載されているホームページのアドレス情報及びリンク情報、該当する識別情報をメインメモリ17へ記憶する。

【0030】次にステップS6からステップS7へ進む、キーワード「〇〇〇〇」に対応する情報を既に送信したことがあるか否かを判定する。すなわち、CPU13はメインメモリ17に記憶されている履歴情報の中から、キーワード「〇〇〇〇」に対応する識別情報が含まれているか否かを判定する。キーワードに対応する識別情報が含まれていないことを判定すると、ステップS7からステップS8へ進む。

【0031】ステップS8では、CPU13が監視情報に基き、メインメモリ17に記憶されているキーワードに対応する情報のうちメッセージデータ及び詳細情報が記載されているホームページのアドレスを送信するタイミングを判断する。次に、ステップS8からステップS9へ進む、CPU13は監視情報に基きメッセージデータ及び詳細情報が記載されているホームページのアドレス情報及びリンク情報を送信するタイミングであるか否かを判断する。

【0032】ステップS9において、例えば、端末装置がメッセージを送信している場合には、送信すべきタイミングではないと判断すると、ステップS9からステップS8へ戻り、再びタイミングを判断する。ステップS9において、例えば、双方の端末装置からの対話文の送信が途絶えた場合は、メッセージデータ及び詳細情報が記載されているホームページのアドレス情報及びリンク情報を送信すべきタイミングだと判断してステップS9からステップS10へ進む。

【0033】ステップS10では、CPU13がメッセージデータ、詳細情報が記載されているホームページのアドレス情報及びリンク情報をチャットサーバ40に送信する。これにより、チャットサーバ40から、キーワード「〇〇〇〇」に関連する情報がインターネット4を介して双方の端末装置50、60へ送信され、それぞれのチャット画面にキーワード「〇〇〇〇」に関連するメッセージデータが表示される。またCPU13は送信したキーワードに対応する情報の識別情報を送信済の情報

履歴としてメインメモリ17に記憶する。

【0034】端末装置50、60では、図3に下線で示すように「〇〇〇〇の新しいアルバムが来週の木曜日に発売だよ。」のメッセージデータが表示されると共に、このメッセージデータと対応する位置にリンクボックス62が表示される。端末装置50、60のユーザーX、Yは、上記メッセージデータを視認することにより、キーワード「〇〇〇〇」に関連する最新情報を知ることができ、話題を広げることができる。また、端末装置50、60のユーザーX、Yが、リンクボックス62をクリックすることにより、キーワード「〇〇〇〇」についての詳細情報を記載したホームページに直ちに接続され、そのホームページの画面がチャット画面の一部に表示される。したがって、端末装置50、60のユーザーX、Yは、ホームページの画面を視認して更に話題を発展させることができる。

【0035】例えば、上記メッセージデータを視認した端末装置60のユーザーYは、「ふへん、〇〇〇〇のアルバム出るんだ。知らなかった。」というメッセージを送信する。チャットサーバ40は、端末装置60からの上記メッセージを受信すると、このメッセージをデータサーバ10へ送信する。データサーバ10では、前述の場合と同様に、CPU13が端末装置60からのメッセージを単語に分解する。そして、CPU13は、端末装置60からのメッセージにキーワードとなる固有名詞が含まれているか否かを判断し、固有名詞である「〇〇〇〇」を情報検索のためのキーワードとして抽出する。CPU13は抽出したキーワード「〇〇〇〇」をデータベース装置30へ送信する。

【0036】次に、データベース装置30では、CPU33がキーワード「〇〇〇〇」に対応する情報をデータベース30bから検索する。検索が終了すると、CPU33は、キーワード「〇〇〇〇」と関連するメッセージデータ、キーワード「〇〇〇〇」と関連する詳細情報を記載したホームページのアドレス情報及びリンク情報、該当する識別情報をデータベース30bから読み出し、メインメモリ37に記憶する。続いてCPU33はメインメモリ37に記憶した前記メッセージデータ、詳細情報を記載したホームページのアドレス情報及びリンク情報、識別情報をデータサーバ10へ送信する。データサーバ10では、制御装置10aが受信したメッセージデータ、詳細情報を記載したホームページのアドレス情報及びリンク情報、識別情報をメインメモリ17へ記憶する。

【0037】そして、CPU13はキーワード「〇〇〇〇」に関連する情報が既に送信済か否かを判断する。ここで、「〇〇〇〇」に関連する情報は送信済みであるので、この「〇〇〇〇」に関連する情報の送信を禁止する。尚、上記では、キーワード「〇〇〇〇」に関連する情報をデータベース30bから読み出した後に、「〇〇

〇〇」に関連する情報が既に送信済みかを判断するようにしたが、キーワード「〇〇〇〇」に関連する情報をデータベース30bから読み出す前に、同一内容の情報が既に送信済みかを判断するように構成してもよい。

【0038】以下同様に、端末装置50、60のユーザーX、Yは、互いのメッセージを送信することにより、チャットを楽しむことができる。そして、端末装置50又は60からのメッセージの中に特定のキーワード、例えば「××××」が含まれている場合は、このキーワード「××××」と関連するメッセージデータが表示されると共に、このメッセージデータと対応する位置にリンクボックス64が表示される。端末装置50、60のユーザーX、Yは、上記メッセージデータを視認することにより、キーワード「××××」に関連する最新情報を知ることができ、話題を広げることができる。また、端末装置50、60のユーザーX、Yが、リンクボックス64をクリックすることにより、キーワード「××××」についての詳細情報を記載したホームページに直ちに接続され、そのホームページの画面がチャット画面の一部に表示される。したがって、端末装置50、60のユーザーX、Yは、ホームページの画面を視認して更に話題を発展させることができる。

#### 【0039】

【発明の効果】以上説明してきたように請求項1に係る発明は、情報通信網を介して接続された端末装置同士の文字対話を制御する対話制御装置から文字対話に係る対話文を受信し、対話制御装置から受信した文字対話に係る対話文の中からキーワードを抽出し、抽出したキーワードと対応する各種情報を検索し、検索された情報を記憶手段から読み出して対話制御装置に送信するように構成したので、文字対話の内容に関連した話題を提供でき、文字対話を活性化させることができるという効果を有する。

【0040】また、請求項2に係る発明は、読み出された情報と同一内容の情報が送信済みかを判定し、同一内容の情報が送信済みの場合は、同一内容の情報の送信を禁止するように構成したので、再度同一のメッセージを表示することがなく、本来の文字対話に支障をきたすこ\*

\*とがないという効果を有する。

【0041】また、請求項3に係る発明は、キーワードに対応してホームページのリンクボックスを表示させ、このリンクボックスをクリックすることにより、リンク先のホームページに接続させるように構成したので、提供された情報についての詳細情報をいつでも調べることができ、更に話題が広がり、文字対話を活性化させることができるという効果を有する。

#### 【図面の簡単な説明】

10 【図1】本願発明に係る情報提供装置を示したブロック図である。

【図2】本願発明に係る情報提供装置が適用される文字対話システムの全体構成図である。

【図3】本願発明に係る情報提供装置を適用して文字対話を行う場合の説明図である。

【図4】キーワードに関連する情報を検索する場合の手順を示した説明図である。

【図5】キーワードに関連する情報を検索する場合の手順を示した説明図である。

20 【図6】本願発明に係る情報提供装置の作用を示したフローチャートである。

【図7】従来の文字対話システムの構成図である。

【図8】従来の文字対話を行う場合の説明図である。

#### 【符号の説明】

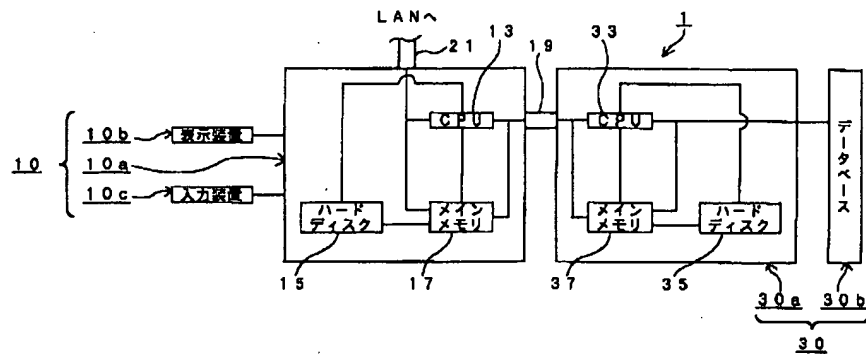
- 1 情報提供装置
- 10 a 制御装置
- 10 b 表示装置
- 10 c 入力装置
- 13 CPU
- 30 15 ハードディスク
- 17 メインメモリ
- 19 バス
- 21 バス
- 30 a 情報制御装置
- 30 b データベース
- 33 CPU
- 35 ハードディスク
- 37 メインメモリ

#### 【図8】

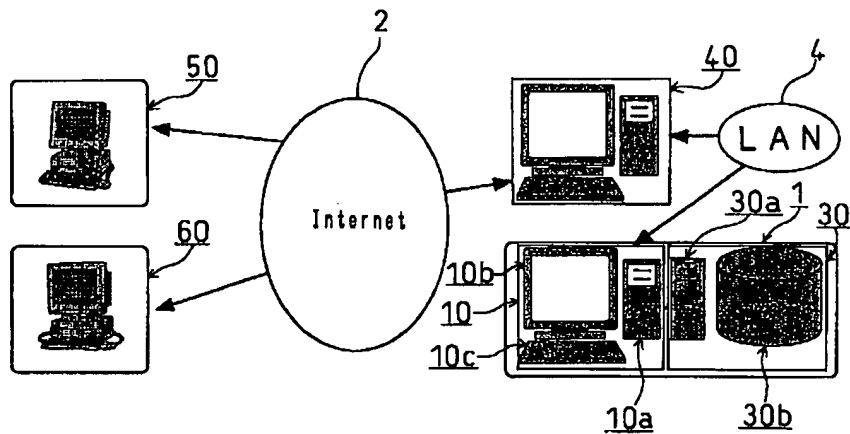
X：昨日、俺〇〇〇〇のコンサートに行ってきたよ。  
Y：へ～、よかった？  
X：もー最高！  
Y：うらやましいな～。でもわたし明日××××に行くからいいや！  
X：そうか、××××か、最近行ってないな。  
Y：そう、彼と一緒にいくんだもん。



【図1】



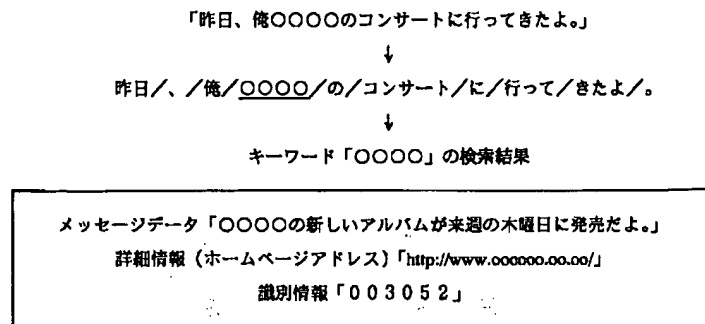
【図2】



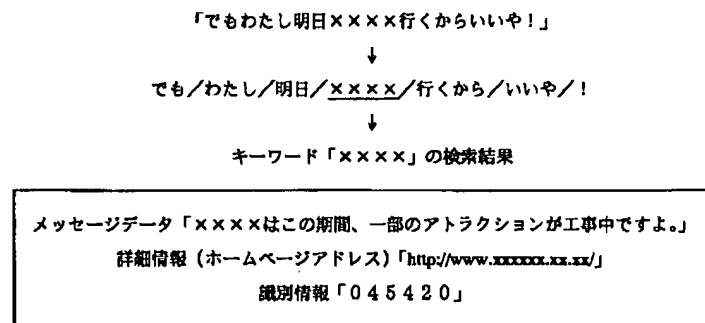
【図3】

X: 昨日、俺〇〇〇〇のコンサートに行ってきたよ。  
 Y: へへ、よかった?  
 X: もー最高!  
 情報提供システム: 〇〇〇〇の新しいアルバムが来週の水曜日に発売だよ。 〇〇〇〇 62  
 Y: へへん、〇〇〇〇のアルバム出るんだ。知らなかった。  
 X: そうそう、最後に歌った曲がそのアルバムに入っているらしいんだ。いい感じの歌だったぜ。  
 Y: わたしもそのアルバム予約してみようかな。それにしてもコンサートうらやましいな〜。  
 でもわたし明日××××に行くからいいや!  
 X: そうか、××××か〜。最近行ってないな。  
 Y: そう、彼と一緒にいくんだもん。  
 情報提供システム: ××××はこの期間、一部のアトラクションが工事中ですよ。 ×××× 64  
 Y: え〜! 最低!!  
 X: まあ、一部ならたいしたことないよ。  
 Y: それもそうね。

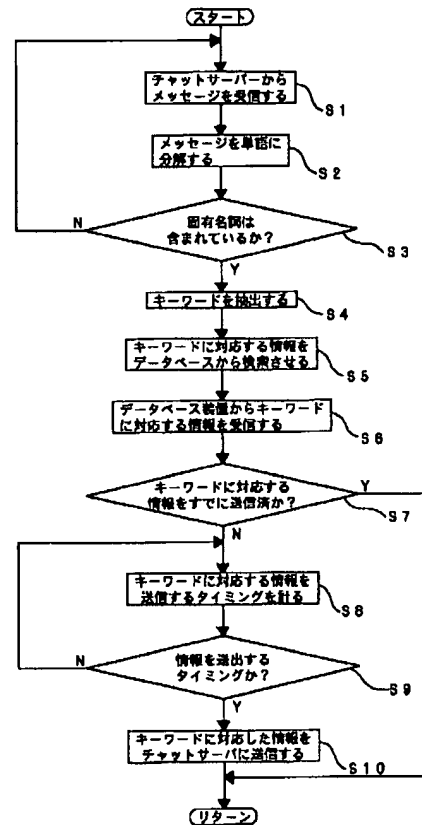
【図4】



【図5】



【図6】



【図7】

